

お客様各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

## 記

《受託開始日》 2025年9月1日(月) 受付分より

## 《検査要項》

検査項目名称	抗 GAD 抗体・抗 IA-2 抗体セット	
検査コード	0872	
TFA コード	22340000	
各項目	(抗 GAD 抗体)	(抗 IA-2 抗体)
検体量	血清 1.0mL	
保存・容器	冷蔵・A1→A2	
実施料(判断区分)	134点(生化Ⅱ)	213点(生化Ⅱ)
所要日数	抗 GAD 抗体陽性時 : 3 ~ 6日 抗 GAD 抗体陰性で抗 IA-2 抗体実施時 : 6 ~ 10日	
検査方法	EIA 法	
基準値	5.0 U/mL 未満	0.6 U/mL 未満
保険収載名称	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体 (抗 GAD 抗体)	抗 IA-2 抗体
保険注釈	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ(GAD)抗体価は、すでに糖尿病の診断が確定した患者に対して、1型糖尿病の診断に用いた場合又は自己免疫介在性脳炎・脳症の診断に用いた場合に算定できる。 抗 IA-2 抗体は、すでに糖尿病の診断が確定し、かつ、抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗 GAD 抗体)の結果、陰性が確認された患者に対し、1型糖尿病の診断に用いた場合に算定する。なお、当該検査を算定するにあたっては、抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗 GAD 抗体)の結果、陰性が確認された年月日を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。	
実施施設	熊本以外: ビー・エム・エル / 熊本: QCL 福岡	

## 《 解 説 》

抗GAD抗体、抗IA-2抗体は、1型糖尿病患者の血中に高率に検出される自己抗体ですが、両者の間に相関関係は認められません。そのため、組み合わせて検査をすることで1型糖尿病の診断や病型分類に有用であるとされています。

本項目は、2023年に改訂された緩徐進行1型糖尿病（SPIDDM）の診断基準に沿ったセット検査であり、一回の採血で検査が可能なおことから、採血時の負担軽減や陽性率の向上が期待されます。

## 《 注 意 》

- 抗GAD抗体が陽性（5.0 U/mL以上）の場合、抗IA-2抗体は「検査不要」で報告致します。
- 単独での依頼をご希望の場合は、既存のコードをご使用ください。  
「抗GAD抗体（検査コード：0187）」、「抗IA-2抗体（検査コード：4461）」